

# チリとの「高齢化社会に対する協力に係る覚書」(概要)

## 1 経緯

- ◆ チリにおいて、高齢化社会対策は最重要施策の一つ。ピネラ大統領に加え、モレル大統領夫人も本件取組を推進。
- ◆ 日チリ首脳会談(2018年11月)において、安倍総理とピネラ大統領との間で、両国は高齢化社会という共通の課題を抱えているとして認識を共有し、今後の両国間の協力について言及。こうしたやりとりを踏まえ、チリ側の要請により、「日本政府とチリ共和国政府との間の高齢化社会に対する協力に係る覚書」を作成。

## 2 覚書の内容

- ◆ 高齢化社会対策に係る高齢者のケアのためのベストプラクティスの交換、技術的能力の構築、官民協力等の促進を通じて、両当事者間の協力を促進することを目的とする。
- ◆ 共通の関心を有する以下を含む様々な分野において、共同で作業を行う。
  - 高齢者のケアに関連する国際的なイニシアティブに取り組むための協力
  - 高齢者を対象とした公共政策を改善及び強化し、効果的な社会的統合を促進することができる方策に関するベストプラクティスの交換
  - 更なる発展のための共通の関心を有する他の分野の探究